

このたびは、pMAX シリーズ用サポートソフト pMAX Editor(ピーマックスエディタ)をご使用頂き、誠にありがとうございます。

本ソフトウェアの優れた機能をご理解頂き、末永くご愛用頂くためにもこの取扱説明書をよくお読み下さい。

目次

| | | |
|----|---|----|
| 1 | 概要 | 2 |
| 2 | 特長 | 2 |
| 3 | 動作環境 | 3 |
| 4 | 適用機種とメモリカード | 3 |
| 5 | 適合する音源データ | 4 |
| | ■適用音源データ(WAVE ファイル) | |
| | ■認識・使用できない音源データ(WAVE ファイル) | |
| 6 | 音源データ(WAVE ファイル)の用意 | 4 |
| | [音源データ(WAVE ファイル)を収納したフォルダ] | |
| | ■パソコン録音 [録音編集ソフト] | |
| | ■音楽 CD/MP3・WMA・MIDI ファイルから音源データを作成する場合 | |
| | ■圧縮ファイル MP3/WMA/MIDI などから WAVE ファイルを作成したい場合 | |
| | ■ステレオ→モノラル、48KHz→44.1KHz などからコンバートしたい場合 | |
| 7 | キーコード(KEY CODE)の入手 | 5 |
| 8 | ソフトのインストール・アンインストール | 6 |
| 9 | ソフトの初回起動 (使用許諾契約書・ユーザー情報登録) | 7 |
| 10 | エディタ画面の説明 | |
| 11 | 設定画面の説明 | 8 |
| 12 | 音源データの登録 (SOUND 登録) | 9 |
| | ■フォルダの指定 | |
| | ■ファイルの指定 | |
| | ■登録後の画面 | |
| 13 | pMAX 入力接点端子への音源データの登録 (アドレス登録・プログラム登録) | 11 |
| 14 | カードデータ作成 | 14 |
| 15 | カードデータを CF カードへコピー | |
| 16 | ドキュメント印刷 | 15 |
| | ■ 困った時に(トラブル対策編) | 16 |

VoiceNavi 三共電子株式会社

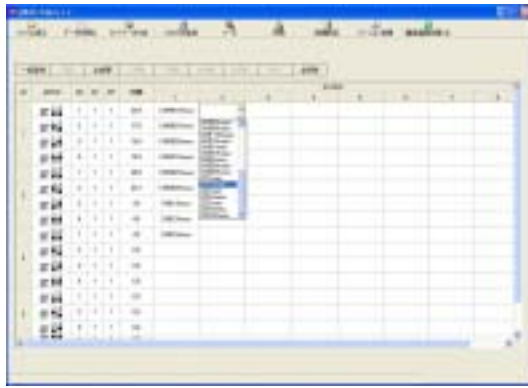
〒389-1102 長野県長野市豊野町大倉3500-17

TEL 026-257-6210 FAX 026-217-2893

E-mail:info@voicenavi.co.jp

URL:http://www.voicenavi.co.jp

1. 概要



本サポートソフトは、ホールセキュリティ&サウンドシステム pMAX シリーズのカードデータを作成するソフトウェアです。Windows パソコン上で pMAX シリーズの接点端子 (DIPSW) に再生したい音源データ (WAVE ファイル) を登録・試聴後、カードデータを作成できます。作成したカードデータは市販のカードアダプタ経由で CF カードにコピーし、pMAX シリーズにセットして使用します。

Windows Vista/XP/2000 対応版

2. 特長

■ホールセキュリティ&サウンドシステム pMAX シリーズ専用サポートソフト

pMAX シリーズ用のカードデータを作成できます。

■試聴ができます

パソコン上で個別・一括試聴ができます。

■複数の音源データ収納フォルダ切替対応

複数の音源データ収納フォルダを切り替えて、音源データ (WAVE ファイル) を登録できます。

■プログラム登録 (組立再生・リピート回数設定)

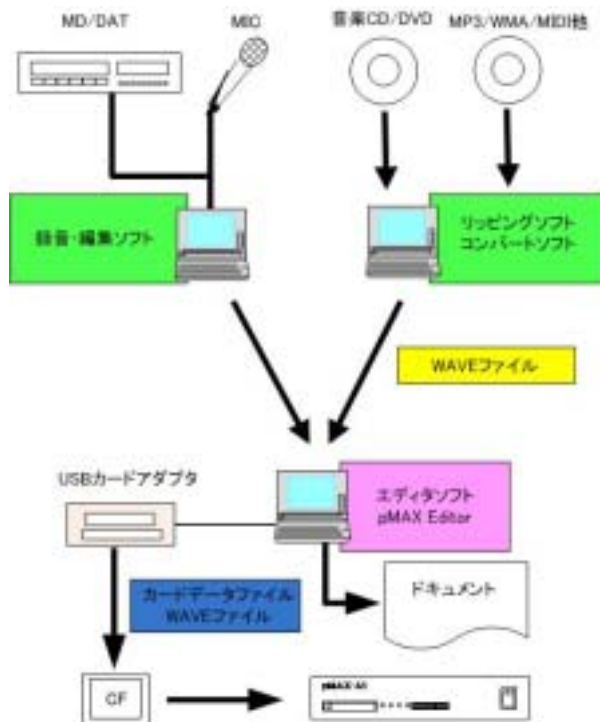
1 接点端子に最大 8 ファイルの組立再生、5 回までのリピート回数を登録できます。

■レポート作成機能

WAVE ファイル登録情報・プログラム再生登録情報等印刷出力できます。

■Windows Vista 対応

Windows OS は Windows Vista/XP/2000 対応版に対応しています。



■音源データ (WAVEファイル) の用意

パソコン録音、音楽 CD リッピング等で使用する音源データ (WAVE ファイル) に用意します。

- ・パソコン録音
- ・音楽 CD からリッピング
- ・MP3/WMA/MIDI データのファイル変換

■カードデータの作成

サポートソフト pMAX Editor を使用して、音源データを登録、カードデータを作成します。

■CF カードへコピー

市販 USB カードアダプタ経由で CF カードにカードデータをコピーします。

■pMAX シリーズにセット

CF カードを pMAX シリーズにセットします。CF カードをセット後、pMAX シリーズの電源を投入します。

3. 動作環境

| | |
|-----------|--|
| OS | Vista /XP/2000 版 |
| メモリ | 256MB 以上 |
| ハードディスク | 1GB 以上の空き容量 (別途、WAVE ファイル用の空き容量は必要) |
| 適用カードアダプタ | 市販の USB 接続タイプまたは PC カードタイプのカードアダプタ CF カード用 |

4. 適用機種とメモ리카ード

本ソフトで作成したカードデータは、下記の適用機種・メモ리카ードでご使用できます。

| | |
|-------|--|
| 適用機種 | pMAX シリーズ ホール島専用不正防止 & 音響演出ユニット |
| 適用カード | CF カード (注)指定メーカー・型式有 32/64/128/256/512/MB 並びに 1GB ●「FAT」フォーマット (注)FAT32,NTFS フォーマット不可 |

5. 適合する音源データ

WindowsOS の標準サウンドファイル WAVE(ウェーブまたはワブ)ファイルを使用できます。

【登録可能サンプリングモード】 (注) ステレオデータは使用できません。

■適用音源データ(WAVE ファイル)

| | |
|-----------|--|
| サンプリングモード | 44.1/22.05KHz 16/8Bit Mono (注) ステレオデータは使用できません。 |
| ファイル名 | 8.3 形式 アルファベット英数字 8 文字表示 [例]1234568.wav 111_123.wav aaaaa123.wav abc_001.wav (注)ロングネームのファイル名はご使用できません。 -, (), {} など Windows 上のファイル名の禁止文字は使用できません。 |

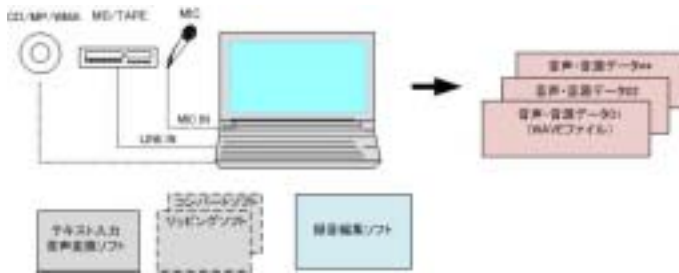
■認識・使用できない音源データ(WAVE ファイル)

| 現象・原因 | 対策 |
|------------------------------------|--|
| ファイル名またはファイル名の一部に日本語が使用されている場合 | 英数字のように見えるが、全角数字などが使用されているファイル ファイル名を半角英数字にする (注)特に |
| ファイル名が 8 文字以上の場合 | 日本語、ロングネームのファイル名に対応していません。 8 文字以内にする |
| MAC OS など一部の録音編集ソフトで作成した WAVE ファイル | 一部の録音編集ソフトでは WindowsOS の WAVE ファイルに準拠しないヘッダー部のファイルを使用していない 下記ソフトで読み込み・保存。 ・WAVE Paseri (フリーウェア) ・Sound It (市販ソフト) |
| 拡張子は wav だが、実際の拡張子は違う | Media Player の場合、ほとんどのサウンドデータ(この場合、真実の拡張子)を再生する。但し、WAVE ファイルではない。 コンバートできる場合、ファイル形式変換します。 ・Sound It (市販ソフト) |

6. 音源データ(WAVE ファイル)の用意

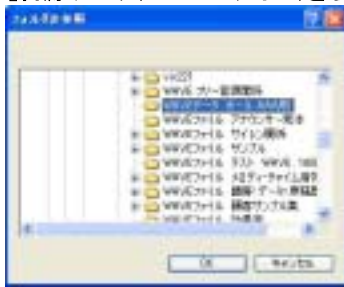
音源データ(WAVE ファイル)ご用意下さい。

作成または収集した音源データ(WAVE ファイル)を適当な名称のフォルダに収納して下さい。
フォルダ名は内容・使用用途によりわかりやすいフォルダ名を付けた方が管理しやすいです。



| | 作成・収集方法 | 必要ソフト |
|---|---------------------------------|--|
| 1 | 自社でパソコン録音(テープデッキ・マイク録音) | 録音編集ソフト |
| 2 | スタジオ等で録音(テープデッキ・マイク録音・HD 録音) | 録音編集ソフト |
| 3 | 音楽 CD などからリッピング | Windows Media Player(OS 付属ソフト) リッピングソフト |
| 4 | 他の音源データ(MP3/WMA/MIDI など)からコンバート | ファイルコンバートソフト |

[音源データ(WAVE ファイル)を収納したフォルダ]



■適用音声データ(WAVEファイル)

本ソフト並びに pMAX シリーズで使用できる音声データ(WAVEファイル)は次の通りです。

- 適用ファイル名形式 8.3 形式 (アルファベット英数字 8 文字表示)

[例] 12345678.wav aaaaa123.wav

(注) -, (), [] , 半角スペースなどが入ったファイル名は使用できません。

- 推奨サンプリングモード 44.1KHz 16Bit/8Bit Mono または 22.05KHz 16Bit/8Bit Mono (注)ステレオ不可

【ご注意】 pMAX 本体では再生できない WAVE ファイル (サポートソフト上では再生してします場合があります)

- ファイル名が上記の適用ファイル名形式ではない場合

エディタ上では再生してしまう場合がある。ファイル名の一部に日本語のアルファベットが使用されている場合、パソコン画面上ではわからない。

- 主に出所不明な WAVE ファイル

拡張子は .wav ですが、実際は違うファイル。パソコン上では再生します。

- ヘッダ情報は一般的ではない WAVE ファイル

一部に録音ソフトで作成した場合、ヘッダ情報が一般的でない場合、t MAX シリーズ上では再生できません。録音ソフトの設定で「付加情報無し」でファイル保存します。

または「Sound IT」や「WAVE Paseri」で読み込み、保存すると使用できる場合があります。

●SOUND 登録時の音声・音源データ(WAVE ファイル)登録のチェック項目・内容

| 項目 | 内容 | |
|-----------|--|---|
| ファイル名 | 同一ファイル名 | SOUND 登録ではデータ内容が異なる場合でも同一ファイル名による二重登録はできません。 |
| | 全角(2バイト)文字が存在しないこと | |
| | 8文字以内であること | 拡張子 .wav 除く |
| | 禁則文字 | “-” (ハイホン) (注) “_” アンダーバーは OK “(” “)” “[” “]” “< ” “>” “¥ ” “/ ” “ ” “* ” “?” “:” |
| | その他 | (注)下記禁止文字使用できません。(チェックできない) ・ ” (半角スペース) × abc 123.wav ・ ” (ピリオド) × abc.123.wav |
| サンプリングモード | 44.1KHz 16/8Bit 22.05KHz 16/8Bit | |
| データ形式 | モノラルデータであること | (注)ソフト・製品によってはステレオデータ対応 |
| ヘッダ情報チェック | タグ情報の確認 タグ情報の確認 タグ情報の確認 サンプルビット数のチェック | 'RIFF' ← WAVEファイルなら所定の位置に存在 'fmt ' ← WAVEファイルなら所定の位置に存在 'daat ' ← WAVEファイルなら存在 8 or 16 であること |

■パソコン録音

下記の録音編集ソフトで作成した音源データ(WAVE ファイル)に pMAX シリーズは対応しています。

プロスタジオに音源データ作成する場合、使用ソフトを確認して下さい。

下記以外のソフトの場合、pMAX 本体でデータ認識・再生できることを確認の上、音源データを作成して下さい。

[録音編集ソフト]

| 区分 | ソフト名 | 内容 |
|--------|------------------------|-----------------------------|
| 市販ソフト | Sound It(サウンドイット) | 音楽 CD リッピング、MP3/WMA コンバート機能 |
| フリーウェア | Sound Engine(サウンドエンジン) | |
| | WavePaseri(ウェーブパセリ) | |

(注)市販・フリーウェア共に多数あります。

■音楽 CD/MP3・WMA・MIDI ファイルから音源データを作成する場合

オーディオ CD からリッピング、音源データ(WAVE ファイル)の加工編集したい場合、市販ソフト Sound It を推奨します。

フリーウェアソフトで行う場合、自社責任で行って下さい。

(注)音源データの著作権につきましては自社責任で処理を行って下さい。

[リッピングソフト]

| 区分 | ソフト名 | 概要 |
|---------------|----------------------|---|
| Windows OS 付属 | Windows Media Player | 「取り込み」機能を使用します。 バージョンが古い場合、最新版をダウンロードしてください。 |
| フリーウェアソフト | CD2WAV32 | Vector 等からダウンロード |
| 市販ソフト | Sound It ! | 市販品 9,800 円 録音編集ソフト |

(注)上記ソフト-評価済み。他に同様なソフトがありますが自社責任でお願いします。

■圧縮ファイル MP3/WMA/MIDI などから WAVE ファイルを作成したい場合

| 区分 | ソフト名 | 概要 |
|--------|------------------------|---------------------|
| 市販ソフト | Sound It! 「サウンドイット」 | 市販品 9,800 円 録音編集ソフト |
| フリーウェア | | Vector からダウンロード |

(注)上記ソフト-評価済み。他に同様なソフトがありますが自社責任でお願いします。

■ステレオ→モノラル、48KHz→44.1KHz などからコンバートしたい場合

| 区分 | ソフト名 | 概要 |
|---------------|------------------------|--|
| Windows OS 付属 | 「サウンドレコーダ」 | サンプリング周波数・Bit 数・ステレオ/モノのコンバート・保存ができます。 (注)Vista 版には本機能はありません。 |
| 市販ソフト | Sound It! 「サウンドイット」 | 市販品 9,800 円 録音編集ソフト これ 1 本で、パソコン録音、音楽 CD からリップング、ファイルコンバート、データの加工編集ができます。 |
| フリーウェア | | Vector からダウンロード |

(注)上記ソフト-評価済み。他に同様なソフトがありますが自社責任でお願いします。

7. キーコード(KEY CODE)の入手

本ソフトは KEY CODE 入力しませんでしたとフル機能では使用できません。

事前に WEB 上でオンラインユーザー登録し、KEY CODE を入手して下さい。(E-Mail 送付)

【配布日】(平日の場合) 当日または翌日 (土日祝日の場合) 月曜日または祝日明け

■KEY CODE の入手

| | |
|-------|--|
| 販売代理店 | pMAX シリーズをお買い上げの販売代理店にお問合せ下さい。 |
| WEB | www.voicenavi.co.jp サポート ユーザー登録 でユーザー登録を行って下さい。 E-mail で送付します。 |

8. ソフトのインストール・アンインストール

下記の手順でインストールします。

【インストールの権限者】 下記の権限者がインストールしてください。他のアカウントではインストールできません。

| | |
|------------------|------------|
| Windows XP/Vista | コンピュータの管理者 |
| Windows 2000 | アドミニストレータ |

■インストール



インストール権限者がインストールしてください。他のアカウントではインストールできません。

1. パソコン上の他のプログラムを全て終了します。
2. 「Setup」プログラムをクリックしてください。

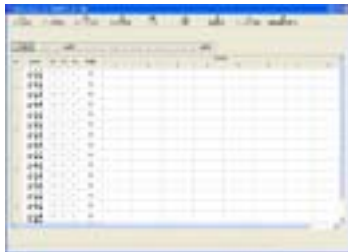


左記の画面が表示されます。
左上 PC イラストのボタンをクリックします。
また

【収納・作成ファイル】

| | |
|----------------------------|---------------------------------|
| 実行ファイル pMAX Editor.exe | Program Files pMAX Editor 内 |
| カードデータ収納先 pMAX CardData | マイドキュメント 内 |

| スタート | プログラム | メニュー内にアイコンを作成します。



インストール後、左記エディタ画面を表示します。

[本ソフトの再起動]

一旦、本ソフトを終了し、スタート | プログラム | pMAX Editor から起動します。

■アンインストール

| スタート | 設定 | コントロールパネル | プログラムの追加・削除 | 本ソフトを指定し、削除して下さい。

(注) CardData などはバックアップ後、別に削除して下さい。

9. ソフトの初回起動（ 使用許諾契約書・ユーザー情報登録 ）

初回の起動時(スタート | プログラム | pMAX Editor)に、「使用許諾契約書の同意」、「ユーザー情報設定」の画面が表示されます。

同意の上、ユーザー情報を入力します。

ご注意 ユーザー情報は著作権保護のために、本ソフトで作成したカードデータファイル.pmx 内に記録されます。

■使用許諾契約



初回の起動時に左記画面が表示されます。
「同意」しますと、次の画面を表示します。

pMAX Editor 並びに作成したカードデータは使用許諾契約書の適用を受けません。

■ユーザー登録情報



ユーザー情報登録画面が表示されます。
入力項目を正しくご記入ください。

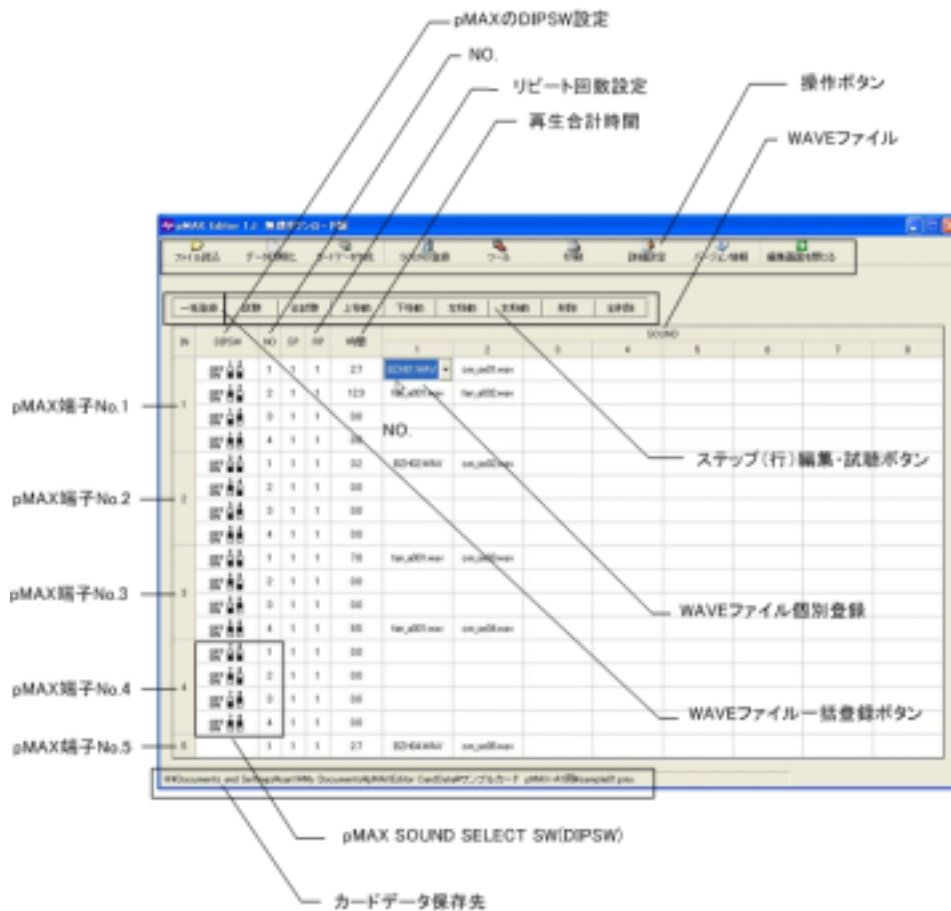
(注)

本登録事項は著作権保護のために、本ソフトで作成したカードデータファイル.wpj に記録されます。

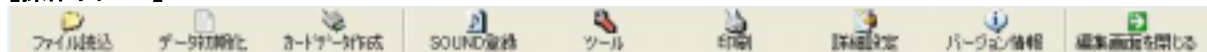
終了ボタン ON で下記のエディタ画面を表示します。

10. エディタ画面の説明

【エディタ画面】



【操作ボタン1】



| 名称 | 内容 |
|----------|---|
| ファイル読込 | 既存のカードデータファイルを読み込みます |
| データ初期化 | エディタ画面内容、WAVE 登録情報、カードデータ作成情報などを初期化(オールクリア)します |
| カードデータ作成 | カードデータファイル名、収納するフォルダ名、作成者情報など所定事項を入力して、カードデータを作成します |
| SOUND 登録 | 使用する音源データ(WAVE ファイル)を登録します。 |
| ツール | ステレオ→モノラル 16Bit→8Bit 無音の WAVE データ作成などの編集ツール (注)本ツールで編集した音源データが再生できない場合、 Windows OS 付属の「サウンドレコーダー」のプロパティをご使用下さい。 |
| 印刷 | 下記の情報を指定して A4 横用紙で印刷できます。 ・WAVE ファイル登録情報 ・エディタ(アドレス・プログラム)登録情報 ・カードデータ作成情報 |
| 詳細設定 | 下記の設定ができます ・フォルダ設定 ・モード設定 ・ユーザー情報 ・KEY CODE |
| バージョン情報 | バージョン内容 |

11. 設定画面の説明

詳細設定ボタンを押し、下記の内容を設定します。

■フォルダ設定



[カードデータファイル名]
アルファベット英数字 8 文字
(注)カードデータ作成画面でも入力できます。

[カードデータ収納先パス]
| マイドキュメント | pMAX Editor | CardData |

■モード設定



本サポートソフトは pMAX シリーズ専用です。

■WAVE ファイル登録



本画面で使用したい音源データ(WAVE ファイル)を登録します。

使用したい音源データ(WAVEファイル)を登録後、エディタ画面で接点端子へ音源データ(WAVE ファイル)を割付ます。

■ユーザー情報



初回起動に登録したユーザー情報を表示します。

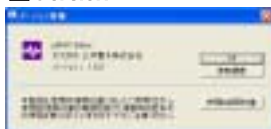
■KEY CODE



KEY CODE を入力します。

KEY CODE はオンラインユーザー登録して入手します。
www.voicenavi.co.jp | サポート |

■Version



バージョン情報と改定履歴を表示しています。

12. 音源データの登録 (SOUND 登録)

| 詳細設定 | WAVE ファイル登録 | 画面で使いたい音源データ(WAVE ファイル)を登録します。



| SOUND 登録 | 画面で使いたい音源データ (WAVE ファイル) を登録します。

本画面で登録した音源データ(WAVE ファイル)はエディタ画面上で何回でもご登録できます。

ご注意

- ・同一ファイル名を複数登録できません。
- ・本画面では「空き No」はできません

【操作ボタン】



| 名称 | 操作内容 |
|--------|--|
| ファイル選択 | 指定したフォルダ内の音源データ(WAVE ファイル)単位で登録します。 [複数ファイル登録] SIFT+ Ctrl+など使用して複数ファイルを選択 |
| フォルダ選択 | 指定したフォルダ内の音源データ(WAVE ファイル)を一括で登録できます |
| 上移動 | 音源データ(WAVE ファイル)を上移動 |
| 下移動 | 音源データ(WAVE ファイル)を下移動 |
| 试听 | No.単位で试听できます (No.部分をマウスでクリックしてステップ(行)を指定) |
| 全试听 | No.全てを順番に试听できます |
| 削除 | 指定した音源データ(WAVE ファイル)を削除します |
| 全削除 | 画面上的全音源データ情報を削除(オールクリア)します |

●ファイル選択による音声・音響データの登録



音声・音響データ(WAVE ファイル)をファイル選択で登録できます。

●フォルダ選択による音声・音響データの登録



音声・音響データ(WAVE ファイル)をフォルダ選択で一括登録できます。

●試聴・全試聴



試聴・全試聴の際、再生している音源データ内容を表示します。

■登録可能な音声・音源データ形式

| | |
|---------------|--|
| ファイル形式 | WAVE ファイル(PCM データ) |
| サンプリング モード | 44.1/22.05KHz 16/8 Bit Mono (注)ステレオデータは登録できません。 |
| ファイル名 | アルファベット英数字 8 文字以内 (例) ○ 001 a001 abc001_001_a001 × a-001 a(001) a 001 a.001 ブザー01 他 |

■登録可能数 255max.

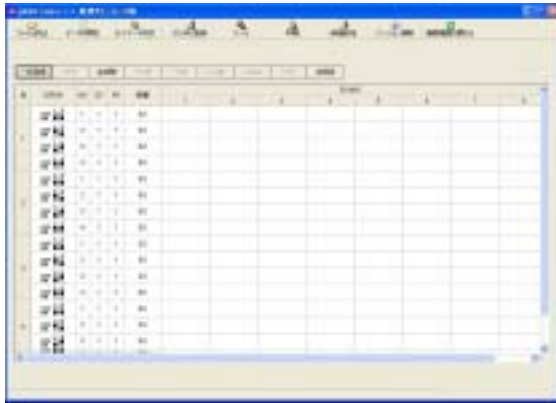
■登録時の音声・音源データ内容のチェック事項

下記のデータ内容のチェック事項を行い、不適当な場合、エラー表示をします。

| | チェック内容 |
|---|---|
| 1 | 全角(2バイト)文字が存在しないこと |
| 2 | ファイル名が12文字以内であること(拡張子含む) |
| 3 | 下記の禁則文字のチェック " " (") [] < > " ¥ " / " " * " ? " ! " (注) (半角スペース)、ファイル名内の "." (ピリオド)はチェックできない |
| 4 | サンプリングレートが下記のいずれかであること 44.1KHz 22.05KHz |
| 5 | モノラルデータであること |
| 6 | WAVEファイルヘッダ情報チェック ・タグ情報の確認 'RIFF' ← WAVEファイルなら所定の位置に存在 ・タグ情報の確認 'fmt ' ← WAVEファイルなら所定の位置に存在 ・タグ情報の確認 'daat ' ← WAVEファイルなら存在 ・サンプルビット数のチェック 8 or 16であること |

13. pMAX 入力接点端子への音源データの登録（アドレス登録・プログラム登録）

【エディタ画面】



pMAX シリーズ本体の入力接点端子 (IN1-4 IN5) に該当する音源データ (WAVE ファイル) を本画面で登録します。

必要に応じて、組立再生、リピート回数のプログラム登録を行います。

WAVE ファイル登録画面で登録した音源データ (WAVE ファイル) を複数箇所登録・使用できます。

【プログラム登録】

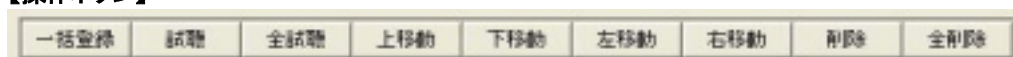
| | |
|--------|------------------------|
| 組立再生 | 1 アドレス(接点端子)-8WAVEmax. |
| リピート回数 | 1 アドレス(接点端子)-5 回 max. |

(注) リピート回数設定は、上記組立再生が有る場合、全体をリピートします

| IN | DPSW | NO | SP | RP | 種類 | SOUND | | | | | | | | | |
|----|------|----|----|----|-----|-----------|---------|---|---|---|---|---|---|--|--|
| | | | | | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | | |
| 1 | OFF | 1 | 1 | 1 | 231 | CMMD1Hwav | Z31Hwav | | | | | | | | |
| | OFF | 2 | 1 | 1 | 206 | CMMD1Hwav | Z21Hwav | | | | | | | | |
| | OFF | 3 | 1 | 1 | 302 | CMMD1Hwav | Z33Hwav | | | | | | | | |
| | OFF | 4 | 1 | 1 | 153 | CMMD1Hwav | | | | | | | | | |

| 名称 | 内容 | メモ |
|-----------|-----------------------|--------------------------------|
| No. | アドレス(接点端子) | 後記記載の No.-アドレス対応表参照 |
| SP | 音声出力系統の設定 | (注) 出力系統の切替機能を有する機種 |
| RP | リピート回数設定 | 最大 5 回までリピートできます (組立再生 1-8 全体) |
| VOICE 1-8 | 音源データ (WAVE ファイル) の登録 | 最大 8 データまで組立再生できます |

【操作ボタン】



| 名称 | 内容 |
|------|---|
| 一括登録 | WAVE ファイル登録画面のデータをエディタ画面に一括登録します |
| 試聴 | No.単位(アドレス)で試聴できます |
| 全試聴 | No.単位(アドレス)全てを順番に試聴できます |
| 上移動 | 音源データ(WAVE ファイル)を上移動 |
| 下移動 | 音源データ(WAVE ファイル)を下移動 |
| 左移動 | 音源データ(WAVE ファイル)を左移動 |
| 右移動 | 指定した音源データ(WAVE ファイル)を削除します |
| 削除 | 指定した音源データ(WAVE ファイル)を削除します その際、後に音源データがある場合、左移動します |
| 全削除 | エディタ画面の全音源データ情報を削除(オールクリア)します 但し、WAVE 登録データやカード作成データなどはそのままです。 |

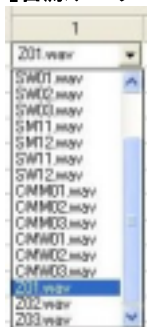
【pMaxシリーズの接点端子 IN No.と PMAX Editor 上 No.】

| pMAXシリーズの入力接点端子 | PMAX Editor 上 No. | | SOUND (音源データ) | 音源データの DW 選択 |
|-----------------|-------------------|---|---------------|----------------------------|
| IN 1 | 1 | 1 | 音源データ 01 | フロントパネル DIPSW 1 と 2 で選択 |
| | | 2 | 音源データ 02 | |
| | | 3 | 音源データ 03 | |
| | | 4 | 音源データ 04 | |
| IN 2 | 2 | 1 | 音源データ 05 | フロントパネル DIPSW 3 と 4 で選択 |
| | | 2 | 音源データ 06 | |
| | | 3 | 音源データ 07 | |
| | | 4 | 音源データ 08 | |
| IN 3 | 3 | 1 | 音源データ 09 | フロントパネル DIPSW 5 と 6 で選択 |
| | | 2 | 音源データ 10 | |
| | | 3 | 音源データ 11 | |
| | | 4 | 音源データ 12 | |
| IN 4 | 4 | 1 | 音源データ 13 | フロントパネル DIPSW 7 と 8 で選択 |
| | | 2 | 音源データ 14 | |
| | | 3 | 音源データ 15 | |
| | | 4 | 音源データ 16 | |
| IN 5 | 5 | | 音源データ 17 | |

【登録例】

| IN | DIPSW | NO | TIME | S | R | VOICE1 | VOICE2 | VOICE3 | VOICE4 |
|----|-------|----|------|---|---|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 1 | | 1 | 2408 | 1 | 1 | sample1.wav | sample2.wav | sample3.wav | sample4.wav |
| | | 2 | 2408 | 1 | 1 | sample1.wav | sample2.wav | sample3.wav | sample4.wav |
| | | 3 | 2408 | 1 | 1 | sample1.wav | sample2.wav | sample3.wav | sample4.wav |
| | | 4 | 2408 | 1 | 1 | sample1.wav | sample2.wav | sample3.wav | sample4.wav |
| 2 | | 1 | 2408 | 1 | 1 | sample1.wav | sample2.wav | sample3.wav | sample4.wav |
| | | 2 | 2408 | 1 | 1 | sample1.wav | sample2.wav | sample3.wav | sample4.wav |
| | | 3 | 2408 | 1 | 1 | sample1.wav | sample2.wav | sample3.wav | sample4.wav |
| | | 4 | 2408 | 1 | 1 | sample1.wav | sample2.wav | sample3.wav | sample4.wav |

【音源データの選択・登録】



登録する No.のセルをマウスの右ボタンで押します。

WAVE ファイル選択画面が表示されます。

WAVE ファイルを選択・登録します。

1 接点端子に最大 8 データまでの音源データを登録できます。

【リピート回数設定】

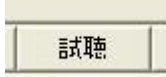
| No. | SP | RP |
|-----|----|----|
| 01 | 1 | 1 |
| 02 | 1 | 1 |
| 03 | 1 | 1 |
| 04 | 1 | 4 |
| 05 | 1 | 1 |
| 06 | 1 | 1 |
| 07 | 1 | 1 |

リピート回数を設定します。

リピートは、1 接点端子の音源データ全体(組立再生)に対して、有効です。

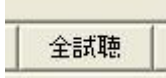
(注)リピート回数の最大値は、pMAX シリーズは最大 5 回です。

[試験]



各接点端子の1行毎、試験できます。

[全試験]



接点端子の全行、試験できます。
1-1 から順番に再生出力します。

14. カードデータ作成

下記のカードデータ作成画面に所定事項を入力し、カードデータ作成ボタンを押し、カードデータを作成します。

| | |
|---------------------------|---|
| 作成したカードデータ内容並びに保存先 | マイドキュメント pMAX Editor CardData 入力したフォルダ名 内にカードデータを作成します。 実際には WAVE ファイルの収納フォルダから WAVE ファイルを複写し、カードデータファイル.pmx を作成します。 |
|---------------------------|---|

■基本情報画面



| 必須入力 | 項目 | 内容 |
|------|-------------|--|
| * | カードデータファイル名 | 8.3 形式 英数字 (注)-() []等不可 |
| * | 作成フォルダ名 | 全角 14 文字まで (注)このフォルダ名で CardData 内に作成されます。 |
| * | 使用機種 | |
| | 作成枚数 | |
| * | 使用カード容量 | |
| | 積算カード容量 | |

■作成情報画面



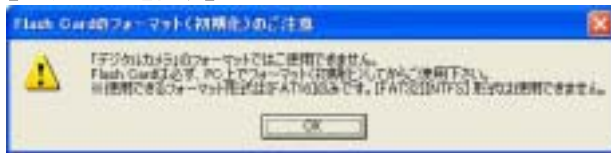
| 必須入力 | 項目 | 内容 |
|------|-----------|----------------|
| | 録音情報 | 録音会社、アナウンサー等入力 |
| | WAVE 作成情報 | 作成者、編集ソフト等入力 |
| * | カードデータ情報 | 作成者、作成日等入力 |

■記録媒体・コメント画面

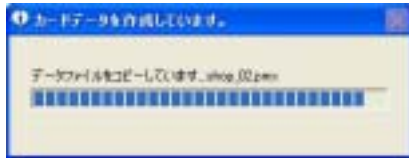


| 必須入力 | 項目 | 内容 |
|------|------|--------|
| | 記録媒体 | 名称等入力 |
| | コメント | コメント入力 |

【作成ボタンを押す】



CF カードは新規購入のままご使用できます。



↓ マイドキュメント ↓ pMaxEditor CardData ↓ 内に入力したフォルダ名のフォルダ、その中にカードデータファイル、音源データ(WAVE ファイル)を作成します。

15. カードデータを CF カードへコピー

パソコン内蔵の CF カードコネクタ(内蔵していない場合、市販の USB カードアダプタ)を使用して、↓ マイドキュメント ↓ pMax Editor CardData ↓ 入力したフォルダ名 ↓ 内の下記ファイルを CF カードにコピーします。

| | |
|-----------|--|
| コピーするファイル | カードデータファイル .pmx 音源データファイル(WAVE ファイル) .wav |
|-----------|--|



↓ マイドキュメント ↓ pMaxEditor CardData ↓を開きます。



↓ マイドキュメント ↓ pMaxEditor CardData ↓ 入力したフォルダ名 ↓ 内の作成したフォルダを開きます。

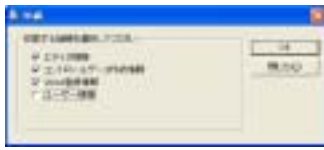


市販のカードアダプタ経由でフォルダ内のカードデータファイル.pmx と音源データ(WAVE ファイル).wav ファイルを CF カードにコピーします

| | |
|-----|---|
| ご注意 | 画面のコピー終了メッセージが出て、カードアダプタのアクセスランプが消灯しても、すぐにカードを抜かないで下さい。約2-3秒後に抜いて下さい。 |
|-----|---|

16. ドキュメント印刷

各種ドキュメントを A4 用紙で印刷できます。



印刷したい情報欄をチェックします

| 項目 | 内容 |
|---------------|----------|
| エディタ情報 | エディタ画面 |
| コントロールデータ作成情報 | カードデータ作成 |
| SOUND 登録情報 | WAVE 登録 |
| ユーザー登録情報 | ユーザー情報 |

使用しているプリンターの印刷画面で枚数を入力します。

17. 音源データの追加・変更

pMAX Editor 上で手軽に音源データの追加・変更ができます。

追加または変更する WAVE ファイルをフォルダに用意します。Flash カード内のデータはハードディスクのフォルダにコピーします。既存のカードデータをエディタ画面のファイル読み込みで読み込みます。

エディタ画面で追加・変更する音源データ(WAVE ファイル)を追加登録、プログラム登録します。

カードデータ作成画面で、カード名称、カードファイル名を入力し、カードデータを作成します。(同一ファイル名を使用しても良いが、上書きします)

【音源データの変更のみの場合】

同一ファイル名の音源データ(WAVE ファイル)を用意して、Flash カードにコピーすればファイル上書きします。
なお、ファイル読み込みした場合、時間・容量などが一致しくなくなります。

18. 音源データの割付内容の変更

pMAX Editor 上で手軽に割付内容の変更ができます。

CF カード内のデータはハードディスクのフォルダにコピーします。カードデータをエディタ画面のファイル読み込みで読み込みます。画面上で、アドレス、プログラム内容を変更できます。

カードデータ作成画面で、カード名称、カードファイル名を入力し、カードデータを作成します。(同一ファイル名を使用しても良いが上書きします)

■ 困った時に(トラブル対策編)

pMAX Editor 上で試聴・登録できて、pMAX-1 上では再生しない音源データ(WAVE ファイル)があります。
Windows パソコンの MediaPlayer(メディアプレイヤー)はほとんどの音源データ、映像データを再生できます。
pMAX-1 はハード・ソフトの制約上、標準の WAVE ファイルのみ再生します。(付加情報を有する WAVE ファイルを認識・再生できない)

●サポートソフト pMAX Editor

| 困った状態 | 原因 | 対処方法 |
|---------------------------------|-------------------------------|---|
| インストールできない | アドミニストレータ(管理者)権限ではない画面で行っている。 | アドミニストレータ(管理者)または権限がある画面でインストールして下さい。 (注)サポートソフト pMAX Editor はプログラムフォルダ内にインストールされます。 |
| 音源データの登録時、音源データを収納したフォルダを指定できない | デスクトップ上にフォルダや音源データが置かれている | マイドキュメント内に音源データを収納したフォルダを移動します。 |
| 音楽 CD のデータは | データ形式が WAVE ファイルでない | メディアプレイヤーやリッピングソフトで WAVE ファイル形式にリッピングします。 |
| MP3,WMA,MIDI データは | データ形式が WAVE ファイルでない | ファイルコンバートソフトで WAVE ファイル形式に変換します。 |

●ユニット pMAX シリーズ (カードデータ・音源データに関するトラブル対策)

| 困った状態 | LED表示 | 原因 | 対処方法 |
|---------------------------------|----------------|-----------------------------|---|
| まったく再生しない | PLAY LED 点滅 | カードデータをフォルダ毎、CF カードにコピーしている | CF カード内へカードデータファイル.pmx と音源データ .wav をコピーします。(フォルダ毎コピーしない) |
| まったく再生しない 再生しない WAVE ファイルがある | PLAY LED 点滅 | pMAX 本体で認識できない WAVE ファイル | MACやWindowsのハイレベルな録音編集ソフトで録音した WAVE ファイルです。 「付加情報-無」で WAVE ファイルを作成します。 またはフリーウェア「ウェーブパセリ」、市販ソフト「サウンドイット」でファイル読み込み・保存します。 出所不明な WAVE ファイルが原因です。 拡張子は.wav ですが実際は異なる。但しパソコン上では再生する場合があります。対処方法はデータによりけり。 |
| | PLAY LED 点滅 | CF カードのフォーマットが違う | デジカメ、FAT32 や NTFS でフォーマットしています。 FAT16 指定でフォーマットし、カードデータをコピーします。 |
| | PLAY LED 点滅 | WAVE ファイル(**.wav)がない | CF カードへコピーの際、WAVE ファイルをコピーしていない。 コピーして下さい。 |
| | PLAY LED 点滅 | カード内にカードデータファイル(**.pmx)がない | CF カードへコピーの際、カードデータファイルコピーしていない。コピーして下さい。 |